



# 大峰山から亦楽山荘へモミジを求めて



H30 年 11 月 20 日

文：永井、 写真：松生

- 1) 実施日：H30 年 11 月 19 日（月）
- 2) 集合場所と時間：宝塚 9：50
- 3) 天候：曇り
- 4) 参加者数：12 名

松生 坂本 沼田 吉田 高橋美 猿田 小西 中村三 永井（MNC）  
 一般 3 名

- 5) 行程：10：00 バス⇒ 10：20 十万辻下車⇒ 11：40 大峰山（昼食）12：10 出発⇒ 林間広場⇒ 育樹の丘⇒ 隔水亭⇒ もみじの道⇒ 14：30 親水広場⇒ 15：00 武田尾（解散）

## 6) 結果：

前日の予報では午前中の降水確率が 50%、でも朝早くに雨が止むようなので、思い切って決行しました。前日の夜、来られそうと聞いている人だけには実施の連絡を入れました。ふたを開けてみるとこんな天気にもかかわらず 12 名が参加。しかも連絡入れてないのに 2 人が来てくれて感激です。私の予想通り始めから雨は一切降らずでした。

大峰山の山道はなだらかな登りで山頂は残念ながら見晴らしはゼロ。途中、ウリハダカエデのオレンジ、タカノツメの黄色がきれいで実ほどの木もあまり残っておらず、ウラジロノキのリンゴのような赤い実がたくさん落ちてました。林間広場では小学生たちが体験学習で「桜守り」の人たちに教えてもらい木を切っているところに出くわしました。

育樹の丘でやっと目的のモミジの紅葉を見ることができましたが、あと 4～5 日すれば見ごろでしょうか。影のところは緑のモミジもありましたが、それでも黄色や橙色や赤のイロハモミジ、深紅のオオモミジなどそれなりに楽しむことができました。帰りはドングリの道からモミジの道へと少し大回りをして下りました。

武田尾では 4～5 年も待ちに待った畑熊が月曜日はよりによって定休日。

## 7) スナップ写真の一例：



大峰山頂上のウリハダカエデ・タカノツメ

大峰山稜線近くで多く観られたヤブムラサキ名残実とクロモジ冬芽



稜線から武庫川を見下ろす



大峰山から亦楽山荘への滑りやすい降り道

育樹の丘東屋前に群生の何ノギク？ユウガノギクに似ているが？



育樹の丘東屋前のモミジ



隔水亭への道筋のモミジ4景



隔水亭への道



隔水亭のモミジ2景



沢から城ガ丘へのきつい登り



育樹の丘 東屋前にて



親水広場への道筋のPATCHワーク